

こんなことができます!

原発事故後の福島市のサウンドスケープの変化の様子の記録を用いた、原発事故の市民生活への影響の一側面を伝える作品・教材作成



夢

原子力発電所のない、安心・安全な社会の構築

共生システム理工学類

永幡 幸司

NAGAHATA Koji

准教授 博士（芸術工学）

研究室 URL

<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~nagahata/index-j.html>

専門分野

サウンドスケープ論

特許情報、著書、論文

What Should the Soundscape Community Do When Listening to the Soundscapes of Fukushima?
(論文：単著)
原発事故後の福島大学をめぐる覚書
(論文：単著)
『原発災害とアカデミズム』
(著書：分担執筆)



東京電力福島第一発電所事故後の2011年5月より、福島市内においてサウンドスケープの変化の様子を定点観測し続けています。観察の際にフィールド録音した音は、『福島サウンドスケープ』(http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~nagahata/fsp_311/) というウェブページにて公開しています。

想定するパートナー

市民団体（暴力的な団体を除く）

具体的な連携、事業化のイメージ

作品の展示、レクチャーなど

これまでの取組事例

第5回放射線防護に関する市民科学者国際会議
(2015年9月、東京、作品上映、レクチャー)
表現の不自由展 (2015年1月、東京、作品展示)
A WINDOW ON FUKUSHIMA (2013年3月、福島、フランス、作品上演)

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

